
deep red a hood 『ショートストーリー その1』

チラリズム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

deep red a hood 『ショートストーリー その
1』

【Nコード】

N1477F

【作者名】

チラリズム

【あらすじ】

もう一つの影をもつ女の子『若草よもぎ』の日常劇。

（前書き）

長編作品に向けての意気込みをこめて、むかし書いた短編作品を掘り出して掲載しました。

第1弾です。

少しでも楽しんで頂ければ嬉しいです。

二ヶ月ぶりに夢をみて、上機嫌な今日盤歴五十四年十月一日。
午前八時三十分私『若草よもぎ』は目を覚ます。

窓のカーテンを勢いよく開けて、グーンと背伸びをしてみせる。
夢の内容は覚えていないけど、きっと良い夢だったと私はそう思っている。

今日も目覚まし時計が鳴る三十分前に目覚めてしまった。損
した気分になるけれどクセになってしまったから仕方がない。

部屋を出てパタパタと階段を降りると、犬の豊さんが私に向かって
ジャンプする。

「ワンワン！」

「おはようございます豊さん」

私はギュッと豊さんを抱き抱えながらリビングへ。

「お母さん。今から豊さんを散歩させに行きますね」

キッチンルームからヒョコッと顔を出した母はハッと思い出したよ
うに人差し指をピンと上に向けて言った。

「ついでの買ってきて欲しい物があるんだけど」

「どこまでですか？」

「茜色の雑貨店まで」

「はい、わかりました」

すると母はメモ用紙に買ってきて欲しい物を書いて私に渡した。

「よろしく」

「いつてきます」

豊さんに首輪を付けて、私は勢いよく外へ出た。
文房具や古着、小説や食料品も置いてある茜色の雑貨店は歩いてた
ったの五分といった所にある。

「オハヨ〜よもぎ〜。ママさんに頼まれて買い物かしら？」

気持ちの良い風を受けながら歩いている私の後ろから話しかける一
人の女性。

名前は『秋月クレマ』

私と同じ黒のロングヘアー、私と同じ顔立ち、私と同じ白いワンピース……それもそのハズ。なぜなら彼女は私の影なのだ。私にしか
見えない形のある影なのだ。

違うところがあるとすれば……少し私より偉そうでお寝坊さんなと
ころ、母をママさんと呼ぶところ、それに好きな音楽のジャンルも
違う……私はA9 SOULの『ジュリアーノ』なんて聴かないし、
ホップな曲よりバラードが好き。でもそれ以外の全てが私。

名前が違うのは彼女の提案。同じ名前だとややこしいので、私が七
歳の時に見ていたドラマの主人公の名前を名乗っているのだ。
本人はえらく気に入っている。

「何を買うの？」

私は母からもらったメモを見ながらクレマに向かって読み上げた。

「え〜とね……ベベロージュの苺ジャムにクロス式のサンダル、あ

と見つければだけどロゼル・ヴィンセント作『グリーンベルの丘・下巻』」

「相変わらずママさん好きよねロゼル・ヴィンセント」

「あと私個人で消しゴムでも買おうかなって……クレマも一緒に探してね」

「私パース。だってあの店の窓際に置いてある二匹のクマのぬいぐるみ、絶対私の方見てて気持ち悪いんだもん。だから私寝とくわね」

「あゝニッチとサッチね？ だからアレはそゝいう仕組みなんだってば」

私はクレマと楽しくお喋りしながら、体は目的の雑貨店へと舵をとる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1477f/>

deep red a hood 『ショートストーリー その1』

2010年10月30日09時59分発行